

F Y Sは全学共通の初年次導入教育科目(必修)です。F Y Sとは、ファースト・イヤー・セミナー(First Year Seminar)の略で、新入学生(1年次生)は少人数のクラスに分かれ、“大学への入門”をセミナー(演習)形式で学びます。本学では、このF Y Sを通して新入学生が大学での学修により早く適応できるようにサポートします。

新入学生のみなさんは、この科目の履修を通して「読み、書き、調べ、問題を発見し、自分の考えを発表し討論でき、自分の責任のもとで行動できる」大学生としての資質を身につけ、積極的に学修に取り組む姿勢を修得してください。

具体的には、以下のような能力を身につけた学生の育成をめざします。

〔大学で学ぶための視点〕

- (1) 大学で学ぶことの意味を理解し、自分を客観視することができる。
- (2) 事象や既存の理論に対して「問題」を発見し、また疑問を提示することができる。
- (3) 自らの能力を自己評価でき、新たな達成目標を設定することができる。

〔大学で学ぶための方法〕

- (4) 大学の組織と沿革を知り、また学修支援システムを自立的、継続的、多面的に利用できる。
- (5) 教育課程を理解し、4年間の学修計画をたてることができる。
- (6) 図書館の利用により、独自に文献や資料等を検索または収集できる。
- (7) 既存の文書を指示された要件に従って要約・再構成でき、また、完成度の高いレポートや小論文を所定の期限までに完成できる。
- (8) グループ学習に際しては、協調性をもって主体的に参画することができ、また意見を述べることができる。
- (9) プレゼンテーションに際しては、自ら資料を作成し、論点を整理し、所要時間内に口頭発表ができる。

授業回数は、前期(半期)15回とし、おおむね以下のような内容と順序で行われます。これにより、大学生に求められる一般常識や態度と、大学で学ぶための基礎的技法をバランスよく学びます。

第 編 大学生に求められる一般常識や態度を身につける

- 第1章 大学で学ぶことの意味を理解する - 自ら積極的、主体的に取り組む -
- 第2章 大学で学ぶことの意味を理解する - 疑問を抱き、「問題の所在」を発見する -
- 第3章 大学で学ぶことの意味を理解する - 神大の歴史・沿革を学び、大学生としてのモラルを理解する -

第 編 大学で学ぶための基礎的技法を身につける

- 第4章 授業への取り組み - 自分にとって役立つノート -
- 第5章 授業への取り組み - 文献資料(図書、新聞、雑誌など)を読む -
- 第6章 授業への取り組み - 情報探索と問題発見 図書館利用ガイダンス -
- 第7章 授業への取り組み - 情報探索と問題発見 情報活用能力を身につける -
- 第8章 授業への取り組み - 問題発見から問題の解決に向けて仮説を設定し、検証する -
- 第9章 授業への取り組み - レポートや小論文の作成 -
- 第10章 授業への取り組み - レポートや小論文の検証 -

第 編 大学で学ぶための視点と方法を身につける

- 第11章 プレゼンテーションを準備する - 意義と目的 -
- 第12章 プレゼンテーションを準備する - テーマ設定とレジュメ作成 -
- 第13章 プレゼンテーションを実施する - 自分の考えを人前で話す -
- 第14章 プレゼンテーションを実施する - 相互に評価・批評をする -
- 第15章 まとめ - F Y Sで学んだことと、これから大学で学んでいくべきことを話し合う -

各回の具体的な授業内容は、『F Y S 資料&ワークシート集 - 大学で学ぶための視点と方法を身につける -』に記載してあります。

成績評価は、授業に参加する姿勢30%、小テストまたはレポート等の内容30%、プレゼンテーション等の内容40%として行います。